



コイ

コイ科 全長 60cm くらい
かつては志木市内の川にも多数放流されていた。汚染に強く雑食性で何でも食べ、環境への悪影響が大きい。国際自然保護連合の世界侵略的外来種ワースト 100。



ニゴイ

コイ科 全長 50cm くらい
本来は中部以西に生息していたが放流により全国に分布。砂底・砂礫底を好む。コイに似ているがコイより体高が低く長細い。



ギンブナ

コイ科 全長 30cm くらい
コイの幼魚に似ているがヒゲはない。関東でオスの確認はなく、卵は他魚種の精子の刺激を受けて成長する。受精ではないので交雑は起こらない。フナ・マブナとも呼ぶ。



ヘラブナ

コイ科 全長 40cm くらい
琵琶湖淀川水系で生息していたゲンゴロウブナの飼育型で、釣り魚として全国各地の池や沼などに放流されている。



オイカワ

コイ科 全長 15cm くらい
関西・北陸以西に生息していたが放流により全国に分布。婚姻色のオスは緑と紅色が混じった派手な色彩になる。ハヤ・ヤマベなどとも呼ばれる。



ウグイ

コイ科 全長 30cm くらい
源流部から河口まで幅広い環境で生活できる。オス・メスともに2筋の赤い婚姻色が現れる。「鵜が喰いたがる魚」なので「ウグイ」という説もある。